

あらし山

おきつしま山

ふたがみ山

水わけ山みよしの、

## 〔八雲御抄名所〕山

自中古或加其字

をぐら山同霧月鹿雪

かみやま麓兼説在賀茂、山下水に有ならの是同事也。

しらとりのとは山

さぎさかほそひれのさぎさか

ふたいの

ふたがみ山同霧月鹿雪

紅葉白鳥のかきさかは目代に有詠花例には山松同

こはだ山しかるのこはだ

かせの鶯いづみこがうみをくかせ

みむろど見圓なり

さがらか同件

短歌有憚見かさの同日月かさの時山ともふるさとみのみかさの鳥

かすが鶯雲松霞藤日すが鹿の紅葉

はるびよめりよぶ日也

こどりはるべと

ふつけ

みわみしめゆふすぎ雲まぞゆふ花おほさきとみのみかさの鳥

たつた島同霞とものみつの紅葉

さほの同霞

大霞とものみつの紅葉

かみのふたがみ

見かさの同日月かさの時山ともふるさとみのみかさの鳥

かみなび同みむろたまくいはしげみむろ

まつち同

かつらき石橋有雪

あちさけみ神がむろのみむろ

見かさの同日月かさの時山ともふるさとみのみかさの鳥

みかきの同みむろたまくいはしげみむろ

まつち同

かつらき石橋有雪

あちさけみ神がむろのみむろ